

三浦哲郎作品情感込めて

短編朗読イベント、文学講話も

八戸

八戸市の三浦哲郎文学顕彰協
議会（森林康会長）は25日、同

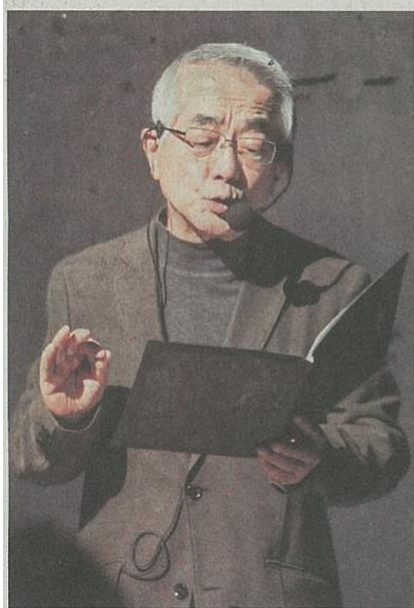
市の「はっち」で、三浦文学に
関する講話と朗読のイベントを
開催し、参加者が「短篇の能手」
とうたわれた三浦さんの作品の
魅力を改めて堪能した。

イベントでは、市公民館の榎
谷伸夫館長が情感たっぷりに
「じねんじよ」を読むと、八戸
学院大短期大学の三浦文恵教
授は展開に合わせた音楽をバッ
クにして「たきび」を朗読。

参加者約70人は、一文一文が
練られた三浦文学の味わいを、
読み手の工夫と共に楽しんでい
た。

朗読に先立ち、森林会長が「短
篇の能手 三浦哲郎」と題して
講演し、三浦さんの文章へのこ
だわりについて解説。「句読点
の打ち方一つまで配慮し、粒の
そろった作品を出した。川端康
成賞を2度受賞したことも、短
篇の能手」を裏付けている」と
強調した。

（松浦大輔）



三浦哲郎さんの作品を朗読でじっくりと聞かせる
榎谷伸夫さん（左）と三浦文恵さん